

やすらぎ

京都市立病院
広報誌

2016

冬



京都市立病院(昭和40年)

—特集—

京都市立病院 創立50周年

(平成27年12月)

◆ 創立50周年記念事業

患者様送迎バス運行開始

市立病院キャラクター「みぶまる」「みぶりん」を紹介します!

◆ 小児科小児血液部門を強化しました!!



地方独立行政法人京都市立病院機構
京都市立病院

京都市立病院 創立50周年



昭和44年



昭和51年



現 在

京都市立病院

昭和40年	京都市中央市民病院と市立京都病院を統合し、京都市立病院として開設。 病床数519床（一般268床、結核51床、伝染病200床）
41年	救急病院に指定される 日本で初めてプラスチックカードの診察券や一患者一病歴制度を採用
42年	
43年	臨床研修病院に指定される
44年	電子計算機を導入（診療報酬請求業務）
45年	
46年	病床数を721床（一般470床、結核51床、伝染病200床）に変更
47年	
48年	
52年	院内保育所（青いとり保育園）開園
53年	病床数を700床（一般450床、結核50床、伝染病200床）に変更
56年	
平成元年	
4年	病床数を616床（一般566床、結核12床、伝染病38床）に変更 本館を開設 自動再来受付機を導入
5年	旧北館改修完了 骨髄移植を開始
7年	エイズ治療の拠点病院に選定
8年	病床数を608床（一般558床、結核12床、伝染病38床）に変更
9年	災害拠点病院（地域災害医療センター）に指定される 地域周産期母子医療センターに指定される
10年	さい帯血移植を実施

京都市立病院は昭和40年12月1日に京都中央市民病院と市立京都病院が統合して開設され、平成27年12月1日に創立50周年を迎えました。創立から現在までの歴史を振り返ります。

主な時事	京都市立病院	主な時事
名神高速道路開通 家庭用電子レンジ発売 2ドア式冷凍冷蔵庫登場	平成 11年 第二種感染症指定医療機関に指定される 病床数を586床(一般566床、結核12床、 感染症8床)に変更	
	14年 手話通訳者を配置	
	15年 女性総合外来を開設 SARS専用診察室を新設	SARS(重症急性呼吸器症候群) の世界的規模の集団発生
	16年 医療通訳者の派遣依頼開始	新潟県中越地震
南アフリカで世界最初の心臓 移植手術	18年 禁煙外来を開始 セカンドオピニオン外来を開設	
日本初心臓移植手術	19年	100歳以上3万人を超える 万能細胞(iPS細胞)作製に成功
アポロ11号月面着陸	20年 電子カルテ稼働 緩和ケア外来を開設	後期高齢者医療制度開始
日本万国博覧会開催	21年 新型インフルエンザ発生に伴い、24時 間体制の発熱外来を設置 病床数を548床(一般528床、結核12床、 感染症8床)に変更 がん患者・家族のサロンを開始 地域医療支援病院に指定される	新型インフルエンザ(H1N1)の 世界的流行
札幌冬季オリンピック	22年 PFIによる整備運営事業を開始	
オイルショック	23年 地方独立行政法人京都市立病院機構を 設立	東日本大震災
京都に地下鉄開通	24年 院内トリアージ制度を導入	東京スカイツリー開業
消費税が導入される(3%)	25年 新館(現北館)を開設 院内学級「わかば」を開設 手術支援ロボット「ダヴィンチ」の運用 を開始 ヘリポートの運用を開始 紹介患者事前予約センターの運用開始 脳卒中センターの開設	
阪神淡路大震災	26年 本館改修工事完了	消費税が8%になる エボラ出血熱の感染拡大 (西アフリカ) 国内でデング熱感染を確認
消費税が5%になる	27年 救急・災害医療支援センター完成 入院支援センターを開設 市立病院イメージキャラクター完成 患者送迎バスの運行を開始	北陸新幹線開業 マイナンバー制度制定
長野オリンピック		



患者様送迎バス運行開始

平成27年12月7日(月)から、阪急・京福西院駅・JR丹波口駅と市立病院を結ぶ送迎バスの運行を開始しました。

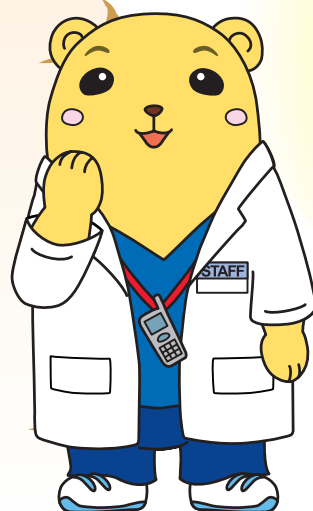
予約不要、無料でご利用いただけますので、是非ご利用ください。



車内の様子
ゆったり27人
乗ります。

車内で、市民公開の健康教室「かがやき」のビデオ上映などを企画しています。どうぞ期待!

- 誕生日** 4月1日
- 出身** 京北生まれ、西院育ち
- お仕事** 市立病院研修医
- 体重** 米俵12個分(体脂肪率17%)
- 性格** 温和でおっとり。社交的で人と話すことが大好き。
- 特技** 動体視力が良く、鮭のすくい上げは百発百中。
- 趣味** 魚釣り。(結局釣れず、ついつい手掴みで取ってしまう。)
- 好きなもの** 衣笠丼と鮭!



市立 キャラ 完

よろし
みぶまる

小児科小児血液部門を強化しました!!

京都市立病院は、造血幹細胞移植などの様々な小児科診療の実績を誇ります。昨年10月には小児科に小児血液部長として石田部長を迎え、一層強みを生かした治療を提供していきます。

そこで、小児の血液の病気とはどんな病気なのかや当院の特徴、今後の目標などを石田部長にインタビューしました。



小児科 小児血液部長
石田 宏之

Q

小児の血液の病気とはどんな病気がありますか？

A

貧血、血小板減少、凝固異常（血が止まりにくい）、小児がんなどですが、一部の免疫不全症も含めて考えてよいと思います。比較的多い病気は、貧血ですが、原因は鉄欠乏性（食事性、激しい運動、消化管からの出血、ピロリ菌）、再生不良性貧血、先天性造血不全など様々です。

Q

治療を行うときに、こどもとおとななどで異なることはありますか？

A

まず、まれな先天性の病気がたくさんあり、おとなよりも病気が多種多様であることです。しっかりと見極め診断したうえでの治療が大切です。

また、治療における目標も異なります。こどもはこれからの人生が長く、成長や妊娠といったイベントがあります。そのため、低身長や不妊、ホルモンの異常などの「後遺症が少ない完治」を目指す必要があります。例えば、放射線治療において、おとなでは充分量を照射するものであっても、後遺症で発達に影響を与えたり、低身長、不妊となる可能性があるため、こどもには代用薬を使用したり、照射範囲の制限やより低照射を考慮することがあります。

Q

診療をするときに心がけていることは何ですか？

A

病気には自然治癒するものも多くあります。自然治癒の期待できる病気には必要以上の治療はせず、自然治癒が難しい場合は、徹底的に検査を行い、治療に臨みます。必要時には、他院とも協力し、最先端の検査や治療も行います。

こどもの病気は多岐にわたるため、まれな病気を見逃さないように慎重に診断しています。



当院の特徴を教えてください。



スタッフや設備が整っているため、化学療法、免疫療法、放射線療法などの様々な治療方法を組み合わせて、より効果的な治療を行います。

当院は、京都の小児科では数少ない骨髄移植推進財団の認定施設^{※1}でもあり、難治性の白血病・リンパ腫、再生不良性貧血や先天性免疫不全などに対する造血細胞移植^{※2}を行っています。

小児科病棟には、プレイルームや院内学級を備え、保育士もいますので、治療と勉強、遊びも含めた入院生活を送ることができます。

また、血液内科とも一緒にカンファレンス^{※3}を行っており、こどもからおとなまで切れ目のない診療が可能です。

※1 京都大学医学部附属病院、京都府立医科大学医学部附属病院と当院の3施設のみ。

※2 白血球、赤血球、血小板の3種類の血液細胞を作る元となる造血幹細胞を移植すること。

※3 治療に関わるスタッフが、患者さんの情報を共有し、治療方法などを検討すること。



小児科病棟



プレイルーム



最後に、今後の目標をお願いします。

市立病院としての役割を果たすため、高度な治療にも取り組み、他の病院に負けない治療を提供していきたいと考えています。



健康教室「かがやき」

「健康はつくるもの」です。一人ひとりが健康づくりに取り組み健康に過ごしていただけるように、健康づくりを応援する当院各科講師による健康教室を開催します。

- 日 時 毎月第3金曜日 午後2時30分～3時30分
- 場 所 北館7階ホール2
- 定 員 先着順50名(予約不要)

2月19日(金)

『スキンケアが大事な皮膚の病気』

3月18日(金)

『ロコモ予防 ～若さを保つ食生活～』

禁煙教室 ～吸う人も吸わない人も知って得するタバコの不思議～

タバコ煙の成分やニコチン依存症のしくみ、タバコによる健康被害、禁煙のコツなど、様々な視点から話をします。禁煙希望者には医師などが具体的なアドバイスを行うほか、その場で当院の禁煙外来を予約することができます。

- 日 時 毎月第2・4金曜日 午後2時～午後3時
- 場 所 北館7階ホール2
- 対 象 京都市立病院に入院や通院している方に限らず、禁煙に興味のある方ならどなたでも

糖尿病教室

糖尿病は、療養を怠ると数多くの恐ろしい合併症が現れる反面、適切な治療を続けていれば、健康な人と変わることなく生活することができます。糖尿病についての正しい知識を持って、糖尿病と向き合ってください。

- 日 時 毎月第2木曜日 午後3時～午後4時
- 場 所 北館7階ホール2

2月18日(木)

『低血糖で認知症が進む? ～高齢者の注意点～』

『寝たきりを防ぐ運動療法』

3月10日(木)

『心のケアしてますか?』

『糖尿病と歩もう ～最近の話題も含めて～』

がん患者・家族のサロン「みぶなの会」

がんで療養中の患者さんとそのご家族の集まりです。患者さん同士で、色々な悩みをお話したり、情報交換ができます。人と話をしたり、話を聞くだけでも、気持ちが軽くなるものです。気軽な気持ちでご参加ください。

- 日 時 毎月第3水曜日 午後1時30分～午後3時30分
毎月第4水曜日 午前10時～午後3時
- 場 所 北館7階サロン
- 対 象 がん患者及びその家族

送迎バス時刻表(無料・予約不要) ※平日のみ(土日祝・年末年始は運休)

時間	京都市立病院		阪急西院駅(ツタヤ前)		JR丹波口駅(ユニクロ前)	
8時		30		35		45
9時	00	30	05	35	15	45
10時	00	30	05	35	15	45
11時	00	30	05	35	15	45
12時						
13時		30		35		45
14時	00	30	05	35	15	45
15時	00	30	05	35	15	45
16時	00	30	05	35	15	45

やすらぎ 2016・冬号 2016年1月22日発行

発行：京都市立病院機構 京都市立病院

〒604-8845

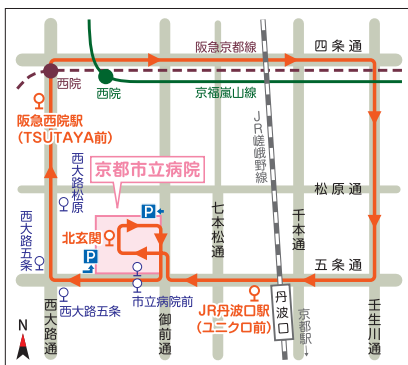
京都市中京区壬生東高田町1番地の2

TEL 075-311-5311 FAX 075-321-6025

京都市立病院

〒604-8845
京都市中京区壬生東高田町1番地の2
TEL 075-311-5311(代)
FAX 075-321-6025(代)
<http://www.kch-org.jp/>

♀ 送迎バス バス停
♂ 京都市バス バス停



京都市立京北病院

〒601-0533
京都市右京区京北下中町鳥谷3番地
TEL 075-854-0221(代)
FAX 075-854-0825(代)
<http://www.kch-org.jp/keihoku/>

